

あわじ島



今月の特集

畜産特集 …… 2~4

令和6年度 中四国ブロック
和牛改良組合強化研修会

JA AWAJISHIMA

2025(令和7年)

3

No.420

畜産

令和6年度 中四国ブロック

和牛改良組合 強化研修会



「改良組合の取組」を発表する清水副組合長



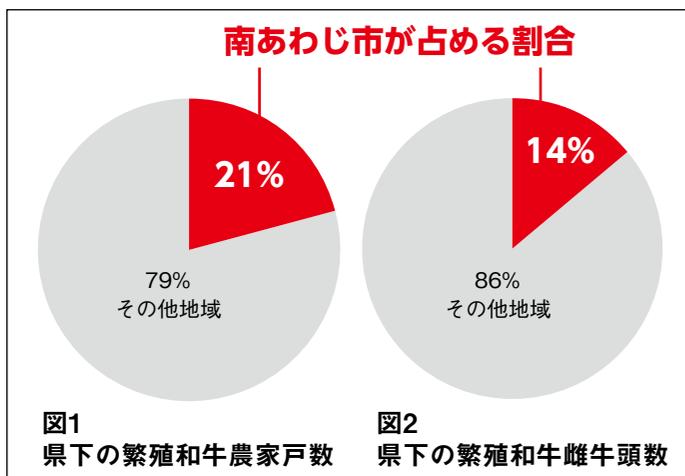
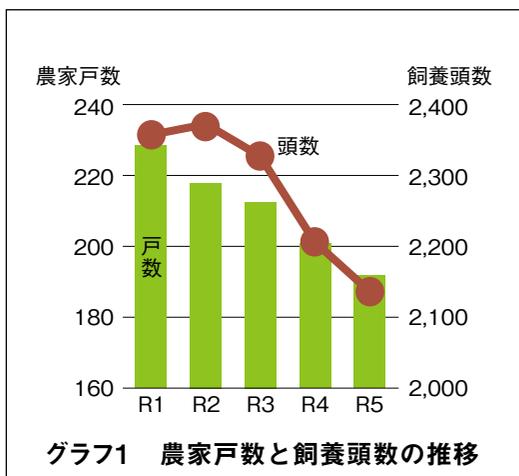
「南あわじ市の概要」を説明する廣本組合長

毎年、近畿・中国・四国地方の改良組合強化研修会が持ち回りで実施され、今年度は兵庫県が開催地ということもあり、全国和牛登録協会兵庫県支部より南あわじ市和牛改良組合の取り組み内容について発表して欲しいと依頼があり、12月19日に豊岡市にて、南あわじ市和牛改良組合の廣本組合長と清水副組合長が発表されました。その発表内容についてご紹介いたします。

1 南あわじ市 和牛改良組合の概要

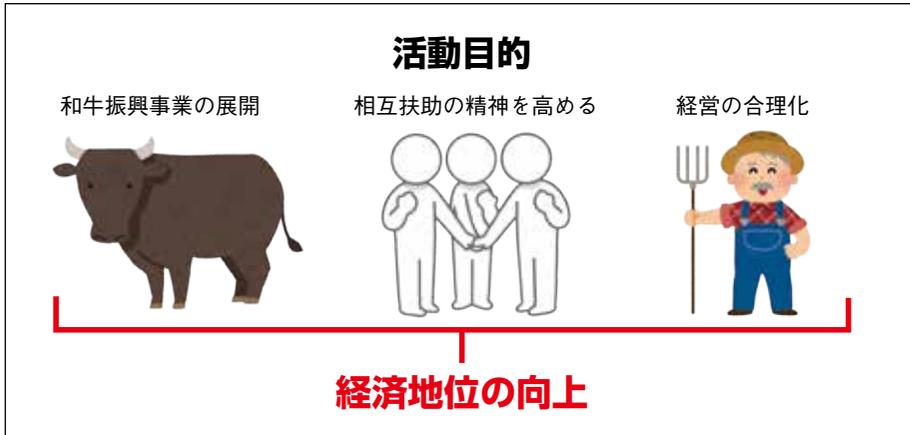
南あわじ市和牛改良組合は平成17年に設立し、南あわじ市管内で繁殖和牛を飼っている農家が加入しており、農家戸数は192戸、母牛の飼養頭数は2,137頭（令和5年12月31日時点）です。農家戸数は県下の21%（図1）、飼養頭数は県下の14%（図2）を占めており、兵庫県における但馬牛の主要な生産地の一つです。しかし、近年の高齢化及び後継者不足を受けて、農家戸数、飼養頭数ともに減少傾向（グラフ1）にあります。一方で、若手繁殖和牛農

家を中心に1戸あたりの平均飼養頭数は増加傾向にあります。



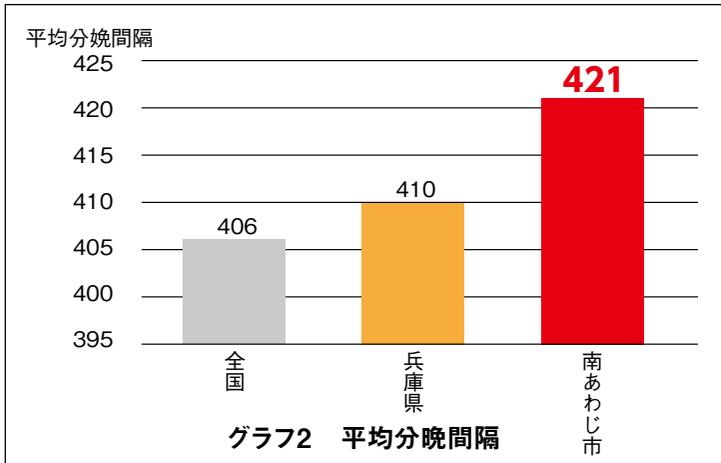
2 南あわじ市和牛改良組合の活動目的

南あわじ市和牛改良組合は、南あわじ市の繁殖和牛農家全戸が所属している組織で、組合活動を通して和牛振興事業の展開、相互扶助精神の向上、経営の合理化等を図り、南あわじ市の畜産業の経済地位向上を目的としています。



3 課題

現在、一戸あたりの平均飼養頭数は約10頭であり、和牛を多頭数飼養をしながら露地野菜や水稲栽培を行う複合経営が多く、そのため露地野菜や水稲の定植及び収穫期等の農繁期には繁殖雌牛の管理がどうしても疎かになりがちです。平均分娩間隔は県内で最も長く（グラフ2）（県平均：410日、南あわじ市平均：421日）分娩間隔の延長は繁殖和牛経営において経済的損失となります。



4 課題対策

原因として…



分娩間隔の長期化



平均分娩間隔を短縮し、経営改善を図る

高等登録審査時に合わせて勉強会を実施

平均分娩間隔を短縮し、経営改善を図るため令和5年度から全国和牛登録協会と協力し、「高等登録繁殖牛管理勉強会」を実施しています。

勉強会では登録協会の他、北部農業技術センターから講師を招き年に2回、高等登録審査※注の審査標準や繁殖雌牛の栄養管理、保留する牛の選定方法等について指導を受けています。高等登録認定をとれる牛を実際に見て、触ることで、農家の飼養管理技術の向上を図り、分娩間隔の短縮につなげています。



参加者による栄養度の確認

※注 高等登録審査 繁殖雌牛としての能力が高水準（分娩間隔400日以内等）と認められた牛のみが受けられる審査のこと。



実際に牛を触り美点・欠点を見極め審査する参加者



記念品を授与される畜産事業所 山口主任

5 審査会研修

12月20日(2日目)の研修会は、JAたじま 但馬家畜市場にて開催され、全国和牛登録協会からの「良い牛の見方」についての講議を受け、実際に牛を見ての審査会が行われました。本場の但馬牛ということもあり、他府県から約100名の改良組合員や関係者が参加されました。審査では牛の栄養度、資質、発育等を審査し、牛の序列を決める試験が行われました。その中で唯一の満点を獲得した山口勇磨主任は「和牛飼養農家の皆さまや各関係機関の方々からのご指導のおかげで、良い成績を収めることができました。これからもどのような牛がより良い牛なのかを伝えていけるように日々精進してまいります」と意欲を述べました。

6 今後の展望

南あわじ市和牛改良組合の組合員は60歳以上が73% (70歳以上が49%) を占めており、約50%は後継者がいない。そのため、組合員数の減少は今後も続くことが予想され、家畜市場への出荷頭数の減少ならびに産地の衰退が危ぶまれています。

今後産地を維持するために、今回紹介した取組等を通して、分婉間隔の短縮を図るとともに、関係機関と連携しながら、後継者の育成・確保および組合員の経営向上に尽力していきます。



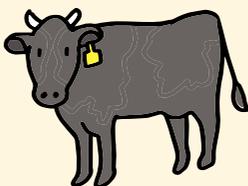
もっとお肉を!

1日に100g前後を目安に食べましょう



「日本人の食事摂取基準(2020年)」(厚生労働省)によると、1日当たりのタンパク質摂取目安量は体重1kg当たり0.8g。体重50kgの人なら1日当たり40gが目安です。シニアの方の場合は利用効率が低下しているため、60gから70gは必要と考えましょう。

肉に含まれるタンパク質は、その重量の5分の1程度ですから、100gの肉で取れるのは20g程度。私たちは肉以外のさまざまな食品からもタンパク質を摂取しています。卵や乳製品、大豆製品はもちろん、米にも多く含まれていますから、トータルで1日の摂取目安量をカバーできれば大丈夫です。100gの肉と100gの魚を、3食のどこかで食べるようにして、さらに牛乳や卵などで補うよう心がけましょう。



●イラスト：服部新一郎

●取材協力：アクティブシニア「食と栄養」研究会 <https://activesenior-f-and-n.com/>

美菜恋来屋 10周年感謝祭

10th Anniversary

地域の皆さまにご愛顧いただき、美菜恋来屋もオープンから10周年を迎えます。
これまでの感謝を込め、お得で楽しいイベントを各種開催しますので、ぜひご来店ください!

3月21日(金)開催! 時間 9:00~18:00

ポイント10倍デー

通常100円につき1P(1円)を10倍に!
(300Pで300円券が発行されます)

美菜恋来屋オリジナル 保冷エコバック プレゼント!

1万円以上お買い上げで!

数量限定100個



野菜詰め放題

じゃがいも・人参・たまねぎ

10:30 開催

お肉の日 特別価格

精肉部門: 鶏・豚・牛

お魚の日 10%OFF

魚屋の商品が10%OFF
淡路島サクラマスイベント

3月22日(土)開催!

3月23日(日)開催!

淡路島牛乳プリン食べ比べ

みないこマルシェ ハンドメイド等 販売イベント

収穫食祭 美菜恋来屋2階にオープン!

お知らせ

淡路島の畑より直送された、新鮮野菜をふんだんに使った「おばんざいビュッフェ」を楽しめるお店。
温かみのある心地よい店内で、美味しい料理を堪能してください。

兵庫県南あわじ市八木養宜上1408 美菜恋来屋2Fレストラン
☎090-1963-4921 (定休日/火曜日、第一・第三水曜日)
ランチタイム/11:00~15:00 喫茶タイム/14:00~16:30
(ラストオーダー16:00) 座席 70席



温かみのある店内



兵庫県
米新品種

兵庫県・JAグループでは、平成28年度から兵庫県独自のオリジナル主食用品種を育成しています。令和7年産からデビューするキヌヒカリに替わる新品種の名称が「コ・ノ・ホ・シ」に決定しました。作型は極早生で「キヌヒカリ」と同じですが、高温に強く食味に優れているのが特徴です。当管内では、令和7年・8年産で試験栽培を行い、令和9年産よりキヌヒカリから全面転換する計画をしています。



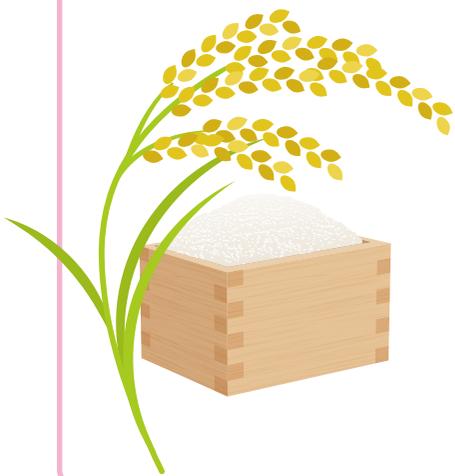
コ・ノ・ホ・シ

地球温暖化により始まった研究、その期間約10年。
 研究現場にはこの地球(ホシ)のことを思い、汗を流す人がいた。
 地球(ホシ)と米の関係を憂い、研究に協力する農家の方がいた。
 空と、土(大地)と、金色に輝く稲穂。
 このお米は、兵庫県の人々が地球(ホシ)のことを思いながらいただく。
 このホシで生まれた「米」を、脈々と引き継ぐために。

令和7年産 経営所得安定対策のお知らせ

水稲(主食米)における作付計画面積	県協議会が示す生産目安の面積換算数値	1.452ha	令和7年南あわじ市主食用米作付計画面積	1.313ha
-------------------	--------------------	----------------	---------------------	----------------

主食用水稲の作付意欲がある方は令和6年産より多くの作付計画をしてみましょう。



水田活用の直接支払交付金

戦略作物	対象作物	交付単価(10aあたり)
	飼料作物	35,000円
	WCS用稲(稲発酵粗飼料用稲)	80,000円
	加工用米	20,000円
産地交付金	使 途	交付単価(10aあたり)
	地域特産野菜助成(たまねぎ、レタス類、はくさい、キャベツ類、ブロッコリー、カリフラワー)	9,000円
	地力増進作物と地域特産野菜の二毛作助成	11,000円
	担い手による地力増進作物と地域特産野菜の二毛作助成	15,000円
	たまねぎべと病対策加算	2,000円
	レタスビッグベイン病防除対策(太陽熱消毒・カラシナ)	10,000円
	地域計画振興作物加算	8,000円



年金わくわく365



毎月の
お楽しみ♪

抽選結果

今月のご当選者は
★6月4日
生まれの方です。



JAあわじ島で年金をお受取りしていただいている方のお誕生日にて、毎月抽選を行っております。

今月のご当選者は、『6月4日』の誕生日の方です。ご当選者全員にJCBギフト券5,000円分をプレゼントいたします。来月以降も毎月抽選を行います。お楽しみにしてください!!

※2025年2月末で年金（公的年金・企業年金・農業者年金等）をJAあわじ島でお受取していただいている方が対象です。

JA組合員向け

JAグループ
共栄火災

●JA団体傷害保険制度●

JA自転車倶楽部

日常生活個人賠償責任補償特約付帯交通事故傷害保険

自転車事故による相手方への賠償や
ご自身のケガへの充実した補償

●示談交渉サービス付きですので、日本国内においてご家族が加害者となる賠償事故の場合に、共栄火災の専任スタッフがご家族に代わって示談交渉を行います。



こんなときに
保険金を
お支払いします

自転車で歩行人に
ケガをさせてしまった。

駐車中の車に自転車で
キズを付けてしまった。

ショッピング中にお店の
商品を壊してしまった。

道路を歩行中に、
車にはねられ死亡した。

自転車に乗っていて
転倒し、入院した。



- JA自転車倶楽部は、全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）を保険契約者とし、当JAの組合員の皆さまを加入者（被保険者）とするJA団体傷害保険制度です。
- 日常生活における賠償責任と交通事故等によるケガを、日本国内・国外問わず補償する制度です。
- 詳しい内容は最寄りのJAの支所までお問い合わせください。

B20-0200-20210507

年金相談 3月23日@9:00~12:00（本所）※要予約

相続相談会 3月28日@10:00~16:00（本所）※要予約

休日ローン相談 毎週日曜日10:00~16:00（本所）※当日電話予約可

ひと・いえ・くるま保障相談 3月23日@（本所）※当日電話予約可

生花教室 3月27日@、4月10日@19:00~



新たまねぎ

販売スタート!



淡路島の新たなたまねぎがついに宅配スタート! 甘くてみずみずしい今だけの新たなたまねぎを全国にお届けします。お申込みは2次元コードまたはJAあわじ島ホームページよりお申込みいただけます。
※なお、ご注文はネット申込のみとなっております。

生け花教室 受講生募集

開催日時 令和7年4月～令和8年3月
毎月第2・4木曜日 19:00～
(6月を除く)

開催場所 JAあわじ島本所

持参品：はさみ、七宝、花器(水盤)、新聞紙
※流儀は嵯峨御流ですので、剣山ではなく必ず七宝をご持参ください。

参加費用 年会費35,000円

申込締切日 令和7年3月27日(木)

受講を希望される方は、本所営農課までご連絡ください。

TEL.0799-42-5211

JA SS

洗車機割引イベント開催!

本所SS 広田SS 洗車全コース

令和7年3月17日(月)～3月31日(月) (オプションは対象外です)

最大半額!

わずか40分で助かる命があります。少しでもお時間いただけませんか?

献血へのご協力をお願いします。

日時 令和7年3月28日(金) 13:30～16:00

場所 あわじ島まるごと(株) 美菜恋来屋 フードコート内

日時 令和7年4月23日(水) 10:00～12:45、14:00～16:00

場所 JAあわじ島本所 駐車場



～温かいご協力に感謝し、記念品をご用意しています～
共催：三原ライオンズクラブ

※200ml献血の受付は必要本数が確保でき次第終了させていただきますのでご了承ください。

F R E S H

[令和7年度]

新採用正職員紹介



継続は力なり

宮脇 克正 ミヤワキ カツマサ

- ① 洲本市
- ② 野球観戦、アニメ
- ③ 精一杯頑張るので、
よろしくをお願いします。



単純しなければ
なにも変わらない

清水 優斗 シミズ ユウト

- ① 洲本市
- ② 筋トレ、サウナ、写真撮影
- ③ 即戦力になれるよう
頑張ります!



情熱

興津 聖也 オキツ セイヤ

- ① 神代
- ② 野球観戦
- ③ 全力でがんばります!



心機一転

長尾 裕介 ナガオ ユウスケ

- ① 明石市
- ② TVゲーム、釣り
- ③ 一生懸命頑張ります!



ありがとう

里深 蓮香 サトフカ レンカ

- ① 榎列
- ② 映画鑑賞、ネイル
- ③ 生まれ育った土地の人々に
貢献したいです。



令和8年度 新入職員募集

対象者

大学・短期大学・専門学校を令和8年3月までに卒業見込みの方。
もしくは、すでに大学・短期大学・専門学校を卒業された方。

募集職種

総合職(営農、畜産、農業機械整備・住宅設備業務含む)…若干名

募集方法

当組合ホームページ「採用情報」の
マイナビ2026(就職サイト)より
エントリーください。



JAあわじ島ホームページ
「採用情報」

※申込方法や処遇など詳しい内容は
マイナビ2026内採用情報をご覧ください。



目録と感謝状を交わした守本市長(左)と原口組合長(右)

南あわじ市寄附金贈呈式 防災・減災に向けた支援活動

あわじ島農協は県内JA・JA共済連兵庫と連携し、自然災害や生活上の経済リスクを少しでも軽減するための取組として、令和4年より『防災・減災に向けた支援活動』を実施しており、令和6年1月から12月までの1年間に共済新規契約1件につき100円を自治体へ寄附する取組を行ってきました。活動の結果、昨年1年間で南あわじ市へ235,600円を寄附することとなり、2月4日に南あわじ市役所で、寄附金の贈呈式が開催されました。市は寄附金で「ポータル電源」を購入する計画です。

原口組合長は「この寄附金を自然災害に強い地域社会の実現、さらには懸念される南海トラフ巨大地震に対する備えの一助としていただき、市民が安心して暮らせる町づくりにお役に立ててください」と挨拶しました。

南淡地区野菜部会 農業経営講演会 経営と事業継承を学ぶ

近年の営農相談では、農業経営や事業継承に関する問い合わせが増加しており、それらの課題に対する講演会を南淡地区の野菜部会員を対象に案内し、1月27日賀集公民館で開催しました。講師は中小企業診断士の本田茂氏をお招きし、うまくいく農業経営の特徴や事業継承のタイプ、親子間の課題、事業承継計画の立て方など多岐にわたるテーマについて学びました。



講義する本田氏



熱心に聞き入る参加者

農業経営の持続可能な発展のためには、事業継承が重要なテーマであることが改めて認識され、参加者の中には「夫婦で来て良かった、長男世代にも話を聞いて欲しかった」、「ミーティングできる家族は伸びる農業だと思う」、「継ぐための心構えを知るいい機会になった」といった感想が寄せられました。アンケート結果では、92%の方が次回の開催を希望しており、今後の継続的な学びの場としての期待が高まっています。

理事会だより

(2月28日開催)

- 議題
- 令和6年度第3四半期末監事監査報告について
 - 令和7年度コンプライアンスプログラムの方針について
 - 令和7年度機構について
 - 令和7年度要員計画について
 - 令和7年度固定資産取得計画について
 - 第6次中期3カ年経営計画について
 - 榎列給油所解体工事について
 - 役員賠償責任保険について
 - 就業規則、契約職員等就業規則の変更について
 - 信用事業方法書の一部変更について
 - 貯金保険機構による検査結果に対する改善状況等の報告について
 - 兵庫県農業信用基金協会への出資について
 - 令和7年度販売、購買、畜産手数料率(案)について

JA活動の成果(2月末)

正組合員	5,383人
組組員	3,941人
合計	(単位:百万円)
貯蓄	210,217
貸出	23,824
長期共済保有	334,755
購買品供給	4,445
特産品販売	10,628
農産品販売	233
畜産販売	1,248



タイムトラベル

33年前

広報表紙へ タイムトラベル

時は平成3年、JAあわじ島の広報誌の表紙には、田浦昇さん、和美さん夫婦がキャベツを収穫する微笑ましい姿が写っています。今回は33年前の田浦さん夫婦のところへタイムトラベル!

昇さんは35歳までパティシエとしてのキャリアを築いていましたが、両親が農業をできなくなったことをきっかけに就農しました。「当時は周りの仲間と競い合いながら、良い作物を作ることに試行錯誤しとった」と昇さんは話します。和美さんは子育てと農作業を両立しながら、昇さんを支えてきました。「夜遅くまで農作業をして、振り返る間もなかったなあ」と二人は当時を懐かしみます。



1991年4月号 表紙

付面積を350aにまで拡大し、レタスやたまねぎから、白菜やレッドキャベツなど多様な品目を栽培するようになりました。

昨年、息子さんが農業を継承しました。「息子から『減らすのはもったいない』と言われたことがきっかけ」と昇さん。息子さんは仕事をしながら3年の見習い期間を経て、段階的に経営を任されるようになりました。

「息子にはあまり口出しせず、できるだけ自分で考えてもらおうようにしています。失敗して本人が納得して経験していくもんやから」と昇さんは話し、親としての見守る温かい気持ちを感じられました。

最後に、田浦さん夫婦が語る農業の

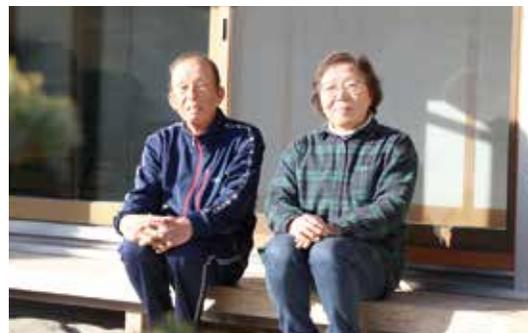
今月の表紙

西淡町松帆
田浦 昇さん(38)
和美さん(36)

＝キャベツ＝
タマネギ、レタスに次ぐ三原野菜の基幹品目キャベツ。管内には約250haが栽培されているが、その内4～6月に出荷される春キャベツの面積が半分以上を占めている。近年、ハクサイ同様根こぶの発生や、グリーンホールの作付伸長などで、やや伸び悩んでいたが、今年は高値で順調に推移しており、これから本番となる春キャベツにも期待がかかる。

＝ひと＝
2年前に会社を退職され、奥さんの和美さんと「農業一本。の道を選んだ昇さん。「農業は休みが無いとか、収入が安定しないと言われるけど、それもやり方次第やないかな。自分の好きなようにできる夢のある職業やと思う」とデュエグした感想を話してくれた昇さんでした。

1991年4月号 表紙紹介 10



現在の田浦さん夫婦

魅力は、「手をかければかけるほど、品物の品質に反映される。努力してもだめなら仕方ない。それでもやり始めた以上は続けることが大事」と力強く語ります。

南あわじ農業は、田浦さんのような家族の絆によって支えられ、代々と受け継がれてきた知恵と経験によって築かれていくのだと改めて感じました。

私は、もう50年以上、毎年たまねぎを畑で作っています。今の子供たちにもたまねぎについて知ってもらえて嬉しくなりました。これからもこのような活動を続けてください。

松帆 K・Tさん (90代 男性)

子ども達が慣れた手つきでどんどんと植えていく姿がとても頼もしく、私も嬉しかったです。つかこの経験が実を結び「淡路島たまねぎ」を未来へと繋いでいって欲しいです。

白菜収穫作業支援で、(株)アグリアイランド様にもお世話になっております。皆さん一生懸命作業に取り組んでいただけて、大変助かってます。外国人の方も手際良く作業されていて感心し、休憩時には明るい笑い声が出て、無理なく作業されているのだと安心してます。まだまだ、農業初心者なので色々見習っています。海外の方にも、母国の農業事情等聞いてみたいと思います。

広田 K・Aさん (50代 女性)

今年は寒すぎてたまねぎの草もまだあまり生えてないのは良いですが、レタスの成長がなかなかで出荷もぼちぼち。もどかしいです。野菜高騰のため、島外の親戚に野菜を送るとかなり喜ばれます。

市 S・Mさん (50代 女性)

私のおじいちゃんとおばあちゃんも野菜を作っています。淡路島たまねぎやレタスは、とても美味しいので、これからもあわじ島の野菜をPRしていっぱい知ってもらいたいです。

榎列 T・Aさん (10代 女の子)

おじいちゃん達が大事に育てた美味しい野菜をたくさんの方に知ってもらえるように、どんどんPRしていきたいです。また、美味しい野菜のことお便りで教えてください。

37年程前に当時は我が家のアイドルと言うコーナーに娘を掲載していただきました。当時は、写真が白黒でしたが、いつもこのお誕生日おめでとうのコーナーを見ては、懐かしく思い出されます。

灘 S・Kさん (70代 女性)

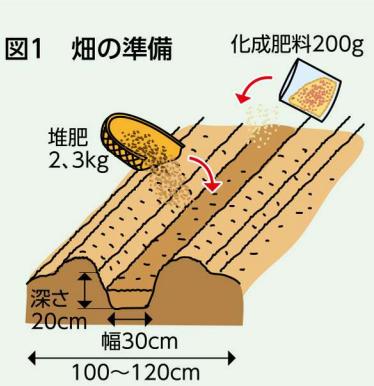


園芸研究家 成松 次郎

ナス
長い期間の収穫を楽しむ

ナスのふるさととは、日照量が多く高温のインドです。夏の酷暑でも適切な管理を行えば、夏から秋まで長く収穫を楽しめます。煮る、焼く、揚げる、漬けると用途は多様です。「ナス紺」と呼ばれる色素はアントシアニンの一種で、活性酸素を抑制し、血管をきれいにする効果があります。

「品種」長卵形の「千両二号」(タキイ種苗)、長形の「筑陽」(タキイ種苗)、また地方には在来品種の小ナス、丸ナス、水ナスなど多様な品種があります。「苗の選び方」ナスの育苗期間は2カ月程度と長いため、苗の購入が便利で、特に土壌病害の青枯病を予防するためには、接ぎ木苗がおすすめです。良い苗



は、①本葉が7〜9枚ほどで、双葉が残っている②幹が太くて、全体的にずんぐりしている③葉脈は鮮やかな紫色④1番花、あるいはそのつぼみが付いている⑤根はポットの底から出そうなくらい、しっかり張っているものです。なお、市販苗が若苗の場合は、一回り大きいポットで1番花が咲くまで育てましょう。

「畑の準備」植え付け2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gをまいて耕しておきます。1週間前に幅100〜120cmの栽培床を作り、中央に深さ20cmの溝を掘り、溝1m当たり化成肥料(NPK各成分10%程度)200gと堆肥2、3kgを施し、よく混ぜておきます(図1)。

「植え付け」中間地では遅霜の恐れのないゴールデンウィークが適期で、1条植えでは株間60cmとし、ポリフィルムでマルチをして地温を上げておきます。

「誘引・整枝」植え付けと同時に仮支柱を斜めに挿し、株を支えます。1番花の下から出る勢いの良い2本の側枝を残し、他はかき取ります(3本仕立て)。その後、1m以上の支柱2、3本を交差させて固定します(図2)。

「追肥・灌水(かんすい)」収穫が始まる頃からマルチフィルムの裾をめくって、1平方m当たり化成肥料50g程度を株元にまき、土寄せします。その後、2週間置きに畝の裾に同量を収穫中休みなく与えます。草勢の判断目安は、健全な花は花柱(雌しべ)がやく(雄しべ)の上に出ている状態です(図3)。また、みずみずしいナスを採るには、十分な灌水が必要で、特に高温乾燥期には毎日灌水します。

「更新剪定(せんてい)」中間地では盛夏(7月中旬〜8月上旬)になると、枝が込み合い、葉が茂って果実への日当たりが悪くなってきました。この頃に全体の3分の1〜2分の1の枝を切り詰める剪定を行い、追肥をして十分な灌水をします(図4)。約1カ月後に良い秋ナスが収穫できます。

「病害虫防除」アブラムシ類、ハダニ類にはマラソン乳剤など、テントウムシダマシにはスミチオン乳剤などで防除基準に従って防除します。

「収穫」開花後20日程度のつやのある若い果実を収穫します。

J A 広報通信より

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

この記事はWEBではご覧いただけません。

ととたまま

皆さんこんにちは！気付けばもう3月ですね。小学生の頃は1年が長く感じていたのに、今はあっという間に時間が過ぎていきます。この現象は「ジャーネーの法則」と呼ばれ、感じる時間の長さは年齢の逆数に比例するというものです。この法則でいくと、「0歳から20歳」と「20歳から80歳」までの体感する時間は同じだとされています。

また、感動やトキメキが時間の感じ方に影響を与えるそうです。これから暖かくなり、私も桜を見に行ったり、カフェで美味しいケーキを食べたり、お祭りに行き、普段会えない友達とおしゃべりを楽しみたいです。皆さんも忙しい日々の中で、ささやかな感動を見つけ、ゆったりとした時間を過ごして、充実した日々をお過ごしください。

(綾子)

JAあわじ島



※ご応募いただいたみなさまの個人情報は、当選者へのプレゼント発送のために利用させていただきます。

※お寄せいただいたご意見・ご要望などは、当広報誌に掲載させていただく場合があります。掲載された場合、氏名は「イニシャル」で表記いたします。

